

元気なまちかど

No.1 体験すると新たな興味が湧いてくる まなびの体験広場2016

まなびの体験広場2016「ひとみの輝く甲賀」が11月3日、忍の里プラザで開催されました。このイベントは、市内の高校生や専門学生、シルバークリニカル、企業の皆さんが講師となり、体験を通して子どもたちに新たな興味・関心を持ってもらう「学びの場」として毎年開かれています。

会場には、飾りものづくりや、輪ゴム銃づくりなど多数のものづくりコーナーが設けられました。子どもたちは丁寧な指導を受けながら、自分の手で作品を仕上げていました。



▲高校生の指導を受けながら、実験する児童たち

No.2 声援を励みに力走 第30回あいの土山マラソン

第30回の記念大会となる「2016あいの土山マラソン」が11月6日、土山体育館を発着とするコースで開催され、フルマラソン、ハーフ合わせて約3000人が出場しました。

参加者は、強い風にも負けず、沿道からの温かい声援に励まされながら、広々とした大茶園など「あいの土山」ならではの大自然を駆け抜けるコースを力走しました。

今年は、甲賀警察署の署員38人が初めて「ランニングポリス」として登場し、2人1組で3~5キロずつ走りながらランナーたちが安全に走れるよう警備にあたっていました。



▲沿道の声援を受けながらスタートするランナー

No.3 豊かな表現力で観客を魅了 多羅尾小学校 オペレッタ

多羅尾小学校の全校児童9人による伝統のオペレッタ公演が11月12日、碧水ホールで行われました。

29年目となる今年の演目は、「運命を変える出会いと分かちあい」をテーマにした、トミー・ウンゲラー原作の「すてきな三にんぐみ」で、3人組の盗賊が親を亡くした少女と出会い、少女の願いである家族をつくるため、国中から孤児たちを集めて家族をつくるというお話です。

6年生が選んだ原作をもとに、5、6年生3人が台本を作り、夏休みも登校して道具作りを行いました。2学期からは下級生も参加し、上級生の指導のもと公演まで日々練習に励みました。

役になりきった児童たちの迫力のある演技に観客は魅了されていました。



▲エンディングで勢揃いした児童たち



▲下り線の忍者トリックアート

No.4 忍者が飛び出しPPR 甲南PA トリックアート

新名神高速道路甲南パーキングエリアで11月11日、忍者が浮き出てくるように見える絵「甲賀流忍者トリックアート」が登場しました。

忍者発祥の地を幅広くPRしようとして企画されたもので、パーキングエリアの建物正面に高さ2.7メートル、横4メートルの巨大なトリックアートが設置されました。

上り線では、屋敷の塀を突き破った忍者が刀を振り下ろす姿が飛び出して見え、下り線には屋敷内で忍者が戦い、手裏剣が飛び交っているように見えます。除幕式の後、観光客は早速、迫力のある絵の前でポーズをとるなど記念撮影をしていました。

であいこうか

DEAI KOKA

INTERVIEW

真っすぐで勝負

甲賀健康医療専門学校
野球部 西口直人選手

10月20日のプロ野球ドラフト会議で東北楽天ゴールデンイーグルスから10位指名を受けた甲賀健康医療専門学校の西口選手にお話を伺いました。

▶指名された時の感想や指名順位については?

楽天球団から10位で指名をしていただいた瞬間は跳びあがるほど嬉しかったです。正直、選んでいただけるのか不安もありました。ドラフト会議で指名がなかった場合、もう1年学校に残って来年のドラフト指名を待つ考えもありましたが、選んでいただいたので順位に関係なく、これからプロの世界でやっていくという気持ちになりました。



▲自慢のストレートを投げる西口投手

▶高校卒業後甲賀健康医療専門学校を選んだ理由と、この1年半で成長したことは?

今までの生活とは違う野球漬けの生活に身を置き、より自分が成長できると思い進学しました。実際、授業以外はほとんど一日中野球漬けの生活を送っています。この1年半で監督の教えや下半身の強化により、高校時との球速は変わらなくてもキレのある球が投げられるようになり、空振りをとることができるようになりました。また、監督からは礼儀をはじめ感謝する気持ち、謙虚な気持ちを教わり、人間的にも成長できました。

▶プロでの抱負は?

1年目はけがをしない体づくりをして、実戦経験を積みたいです。球速を上げることはもちろん、球のキレも増して、真っすぐで押せる投手に成長したいです。先発ローテーション入りを期待されているので、その期待に応えられるよう1日でも早く1軍に上がり活躍し、お世話になった方々に初勝利の報告をしたいです。



▲楽天の帽子をかぶり、プロへの意欲をみせる西口投手